

施設に車椅子3台寄贈

一般社団 広島県配置医薬品連合会



一般社団法人広島県配置医薬品連合会（小畠恒治会長）では、恒例の福祉施設への車椅子寄贈を七月六日

に実施、今年は広島県安芸高田市向原町にある社会福祉法人ひとは福祉会による障害者支援施設「ひとは作業所」に三台の車椅子を寄贈した。写

真。

同会では、平成六年から毎年七夕の日に障害者支援施設などに車椅子を贈っている。回地域の広島県民に感謝の気持ちを込め毎年講習会等で募金を行っての実施で、平成二十四年度で十九回目。

贈呈式は、午前十時半から広島県安芸高田市向原町にある社会福祉法人ひとは福祉会による障害者支援施設「ひとは作業所」で行われた。式には、県薬務課から中村能治主任、広島連合会から小畠恒治会長、二反田正弘副会長、門那良三副会長、鈴木将理事が出席し、

施設から寺尾文尚代表、崎高治施設長ほか入所者多数が参加した。広島連合会から三台の車椅子が贈られたあと、中村県薬務課主任が車椅子贈呈の経緯を説明しながらあいさつ。施設側代表者・入所者からは、感謝の言葉などがあつたあと、和やかに記念撮影が行われた。

その後、施設代表や施設長を囲んで懇談。施設側からは、施設の生い立ちや運営の基本方針などの説明があった。

その中では、施設側から「当作業所では、知的障害者等八十六名が所属し、地域とのつながりを重視して活動している。入所者には、

社会に必要とされている実感を持たすことが大切と考え、積極的に外に出て行くためにも車椅子は大変有り難い贈り物です」と感謝の言葉があった。

また、連合会側から配置薬の説明などをすると、施設側から「当施設でも大変お世話になっている（連合会員業者の薬箱を使用中）。便利が良いので助かっています」との話もあった。

懇談のあと、城崎施設長の案内で作業所等の現場に足を運び、特産の繩文アイス・クッキー・ジャムの製造過程やアルミ缶の処理現場、生活設備などの見学をして説明を受けた。

参加者は、午前十一時五十分に施設職員・入所者の見送りを受けて施設を後にした。